

2012年1月23日

鹿児島県警察本部長
笠原 俊彦殿

日本共産党県議団

代表 まつざき真琴

日本共産党鹿児島地区委員会

市議会議員 大園たつや

副委員長 桂田みち子

生活相談室長 たてやま清隆

交番・駐在所の統廃合に関する申し入れ

鹿児島県警察本部におかれては、県民の安心・安全のために、日夜ご奮闘いただいております。

現在の日本社会においては、長引く景気の低迷の中で、貧困と格差の拡大が大きな社会問題となっており、その打開策が見えない中で、国民は将来への不安や閉塞感を抱いています。

そのような情勢下で、県警察本部においては、昨年末に、「県下においては、殺人、強盗等の県民に不安を与える重要犯罪が発生しているほか、高齢者が当事者となる交通死亡事故も高い割合で発生」しているとして、新「あんしん・かごしま」創造プログラムを策定され、「日本一安全で安心な鹿児島」の実現のための方策を示されています。

県内各地では、自主防犯ボランティアや青パト隊が結成され、自主的な防犯活動が活性化してはおりますが、同時に、住民にとって、地域の駐在者や交番は、安心・安全な生活のためのよりどころとして欠かせない存在となっています。

ところが、今回、全県規模で、駐在所や交番を統廃合する計画が発表され、警察署ごとに、住民説明会が開催されていますが、各地で、住民から不安の声が上がっています。

特に、鹿児島市喜入地域においては、現在の3駐在所が廃止となり、1交番体制になるということで、駐在所の存続を求める大運動が起こっています。昨年5月には、5つの校区で署名活動に取り組み、5千筆を超える署名が集まり、南警察署に届けられました。

また、鹿児島市吉田北駐在所についても、吉田北駐在所の他、東俣、小山田、郡山の4駐在所を廃止し、4人体制の郡山交番に統廃合するとされており、吉田地域の住民からは吉田北駐在所の存続を求める署名が提出されています。

つきましては、住民の願いに応え、安心・安全なまちづくりのためにも、下記の項目について、対処されますよう申し入れるものです。

記

1. 喜入地域の駐在所について、住民の要望の通り、駐在所を存続させること。
2. 吉田北駐在所についても、住民の要望通り、駐在所を存続させること。
3. 他の地域についても、住民の合意が得られないままに、駐在所や交番の統廃合を行わないこと。